



# 利南東



令和5年度学校だより

令和5年7月13日

第7号

校長 大竹 敏之

【TONAMIプライド第2章】 **つなぐ** 「ひと」をつなぐ 「学び」をつなぐ

## ■ 今年の学校評価についてお知らせします ◇ Part2 ◇

前号に引き続き「学校教育目標（目指す児童像）」を実現するための具体的な目標と方策をお知らせします。内容をご確認ください。

※赤字は本年度検討して変更や修正をした箇所です。改善内容がとて多くなりました。

### 具体目標8 児童の健康の保持増進に向け、学校保健計画に基づいた保健教育を推進します

#### ◆方策◆

- ・月1回の健康チェックカードや長期休み明けの生活調べなどを使って自分の生活を振り返らせ、保護者によるチェックを行う。
- ・保健だよりで健康に大切さを家庭に周知し、理解と協力を求める。
- ・学校のSNSルールや児童と保護者で作った「わが家のSNSルール」について振り返る場を設け、児童が主体的に守れるようにする。



【参考：アンケート評価目安】

<教> 「学校保健計画に基づいた保健教育が適切に行われている」80%以上

### 具体目標9 児童の体力向上に向け、体力向上プランに基づいた具体的な取組を推進します

#### ◆方策◆

- ・体育の授業や体育的活動を通して運動することの楽しさを味わわせ、運動への興味付けを図る。
- ・保健委員会や体育委員会による呼びかけなどを実施する。
- ・朝行事の内容や実施方法を工夫し、活動を充実させる。

【参考：アンケート評価目安】

<児・保> 「外遊びをしたり体を動かして遊んだり運動したりしている」80%以上

### 具体目標10 安全な登下校や学習のための環境整備をします



#### ◆方策◆

- ・毎月の個人点検や学期末の複数による点検を実施し、気づいた所はすぐ現状確認のうえ、修繕するようにする。
- ・通学路の危険箇所の確認や自転車の使用状況などの具体的な問題点について保護者から意見を吸い上げ、対策を講じる。
- ・防犯パトロール隊や安全の家と連携して登下校の安全確保をする。
- ・冬期間の通学路除雪の協力依頼をする。
- ・土砂災害警戒避難確保計画について、職員で共通理解を図る。
- ・訓練後の反省を生かし対応マニュアルを定期的に見直し改善をその都度加えていく。(特に震5弱以上の地震対応マニュアル)。
- ・小中で連携して保護者参加型の引き渡し訓練を実施し、対応力を高めていく。
- ・緊急時等にはC4thホーム&スクールを活用し、家庭に注意を呼びかける。

【参考：アンケート評価目安】

<保・教> 「学校は登下校の安全指導や通学路、学校設備等の安全確保に努めている」80%以上



## 具体目標11 自分の安全を自分で守ろうとする意識を身に付けます

### ◆方策◆

- ・地震や火災・防犯等を想定した訓練を学期に1回以上実施し危険を回避する方法を身に付けさせる。
- ・交通安全教室や通学部会、学級活動で安全に関する学習に取り組み、安全に対する意識を高める。

【参考：アンケート評価目安】

＜児＞「登下校や学校生活で安全に気を付けて生活している」80%以上

## 具体目標12 特別な配慮を必要とする児童の情報を共有し、適切な指導を充実させます

### ◆方策◆

- ・特別な配慮を必要とする児童の情報共有を目的とした全体会（校内特別支援教育推進委員会）を年に2回実施する。
- ・特別な配慮を必要とする児童に対し、適切な指導が図られるよう各児童についての「個別の指導計画」を作成する。
- ・児童に還元される「個別の指導計画」となるよう、1学期末に研修会・ケース会議を開き、特別支援に関する教員のスキルアップを図る。

【参考：アンケート評価目安】

＜教＞「特別な配慮を必要とする児童の情報を共有し適切な指導の充実が図られるよう努めている」80%以上

## 具体目標13 児童が自らの将来の夢や希望について考えられるよう、キャリア教育の実践を充実させます

### ◆方策◆

- ・係活動や当番活動など自分の役割を果たし、誰かの役に立っているという経験を積み、自己有用感を育てる。
- ・道徳の「勤労」や家庭科の「家庭生活と仕事」等の指導において家庭と連携し、家庭での役割を考え、手伝いができるようにする。
- ・社会科、生活科や総合的な学習等において、りんごや米作り農家、公共施設・福祉の場等で働いている人たちの話を紹介したり、聞いたりすることを通して、働くことの大切さを感じ取らせる。
- ・キャリアパスポートを活用して振り返りを蓄積し、今後の生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりすることができるようにする。・係活動や当番活動など自分の仕事に対して工夫しながら自分の役割を果たせるよう、学級活動の指導を充実させる。

【参考：アンケート評価目安】

＜児＞「将来の夢や希望について考えている」80%以上

＜児・保＞「将来の夢や希望について家庭で話題にしたことがある」80%以上



## 具体目標14 保護者と連携して教育活動に取り組みます

### ◆方策◆

- ・学校便りや学級通信等、C4t hなどで情報発信の工夫をする。
- ・欠席や早退の時、子供の様子に変化がある時は、連絡帳や電話連絡、家庭訪問等を通して相互の連絡を密にする。
- ・全家庭を対象とした保護者面談を実施することにより、保護者が学校に連絡・相談しやすい環境づくりに務める。

【参考：アンケート評価目安】

＜保＞「学校や子どもの様子がわかる」80%以上

＜保＞「学校は保護者が学校に連絡しやすい環境を作っている」80%以上



以上です。ご協力のほどよろしく申し上げます。